中小企業の経営支援及び地域活性化への取組み

当金庫は、CSR（企業の社会的責任）活動にも積極的に取組んでおります

■地域密着型金融の推進状況

≪令和４年度の実績≫

⑴ 創業・新規事業開拓

項　　目	件　数
当金庫が関与した創業件数	24件（前年14件）
当金庫が関与した第二創業件数	6 件（前年 2 件）

⑵ 成長段階における更なる飛躍

項　　目	件数・金額等
本業（企業価値の向上）支援先数（情報提供含む）	1,238先 （前年1,258先）
うち販路開拓支援を行った先数（成約数）	92先 （前年104先）
うち中小企業に対する経営人材・経営サポート人材・専門人材の紹介数（成約数）	24人 （前年36人）
うち外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数（成約数）	17先 （前年42先）

⑶ 経営改善・事業承継等

項　　目	件数・金額等
金融機関がメインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標の改善（売上高、経常利益）や就業者数の増加が見られた先数	メイン先数　1,335先 （融資残高　598億円） うち改善先数　861先 （融資残高　441億円）
中小企業活性化協議会を利用した件数	17先（前年14先）
中小企業支援策の活用を支援した先数	354先（前年473先）
M&Aマッチング成約先	1 先（前年 3 先）

≪令和４年度公表数値目標および実績≫

公表数値目標の内容	目標	実績
不良債権比率（金融再生法に基づく資産査定開示債権）	3.398%	4.528%
事業貸出先全体に対する債務者区分のランクアップ先数	30先	16先
経営改善支援取組先に対する債務者区分のランクアップ先数	5 先	13先

≪令和５年度公表数値目標≫

公表数値目標の内容	目標
不良債権比率（金融再生法に基づく資産査定開示債権）	4.108%
事業貸出先全体に対する債務者区分のランクアップ先数	30先
経営改善支援取組先に対する債務者区分のランクアップ先数	5 先

※当金庫の「地域密着型金融推進計画」の内容や進捗状況はホームページに公表しています。（https://www.tanshin.co.jp）

■「経営者保証ガイドライン」の活用状況

≪令和４年度の実績≫

項　　目	割合
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	35.6%
事業承継時における保証徴求対応に係る以下の４類型の割合	
代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除せず、かつ、新経営者との保証契約を締結した件数	1.8%
代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除しなかったが、新経営者との保証契約は締結しなかった件数	42.9%
代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除する一方、新経営者との保証契約を締結した件数	53.6%
代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除し、かつ、新経営者との保証契約を締結しなかった件数	1.8%

■「信用金庫の日」の奉仕活動

信用金庫の日（昭和26年6月15日の信用金庫法制定にちなんだ日）には、地域の皆様のご愛顧に感謝し、例年、全店一斉に支店所在地において清掃作業等の奉仕活動を実施しています。令和5年度は信用金庫の日に本店と和田山支店で献血を実施し、役職員40名が採血しました。

■たんしん年金友の会「信寿会」の活動

第11回 親睦グラウンドゴルフ大会を開催しました。コロナ以降初めての開催でしたが、午前・午後の部に分かれて多数の方にご参加いただきました。

■地域行事への参加

当金庫では、地域との交流を深めるために、地域行事への参加やお手伝いを積極的にしています。

○地球温暖化防止への取組み

当金庫は「気候変動イニシアティブ」Japan Climate Initiative（略称：JCI）へ参加しています。

○高齢者見守りネットワーク事業への協力

公益財団法人たんしん地域振興基金の活動

たんしん地域振興基金は、「コミュニティ（地域社会）活動」および「産業活性化の活動」を応援するために、但馬信用金庫が平成9年3月に設立した財団法人です。平成23年10月には、公益法人の制度改革に対応するために組織態勢を再構築し、多くの法人が一般法人化するなかで、公益財団法人として兵庫県の認定を受けて、新たに『**公益財団法人たんしん地域振興基金**』として活動を開始いたしました。

事業を通じて、豊かな住み良い地域社会の創造に寄与することを目指しています。主な事業内容は以下のとおりです。

奨学金事業

令和元年度より、但馬地区の高等学校に在学し、四年制大学（またはこれと同程度以上）に進学を希望する学生に対する奨学金事業を開始しました。

●募集人数／毎年7名程度　給付額／月額15,000円

「たんしん経営塾」の運営事業、たんしん経営塾OB会事業

但馬地域の産業を担う若手経営者の育成をお手伝いするために「たんしん経営塾」を開講し、定期的な勉強会と異業種交流を図っています。また、講座修了者の継続的な交流と相互啓発の場としてOB会を組織し、現在200名を超える会員となっています。

ホームページ「但馬の百科事典」の運営事業

当財団は、但馬の活性化のために、まず但馬のことをよく知り、理解していただくことが大切であると考え、ホームページ上に「但馬の百科事典」を運営しています。但馬の著名人、文化、観光名所等についてまとめて掲載していますので、是非ご覧ください。

https://tanshin-kikin.jp/